

平成26年度日本小児外科学会
第3回定例理事会議事録

日 時：平成 26 年 9 月 30 日（月） 11：00～16：00

会 場：日本外科学会会議室

出席者：仁尾正記（理事長）、黒田達夫（副理事長）、前田貢作（理事・会長）、田口智章（理事・副会長）、北川博昭、窪田正幸、松藤 凡、八木 實、漆原直人、米倉竹夫（以上理事）、岩中 督、菰澤融司（以上監事）、菱木知郎（庶務委員長）、渡井 有（財務会計委員長）、小室広昭（庶務副委員長）、吉澤穰治（財務会計副委員長）、田中 拡（庶務委員）、尾藤祐子（庶務委員）、堀口裕輔（事務局）

議事案件：

議 事：

1. 第3回定例理事会の議事録署名人は、窪田正幸理事、八木 實理事とした。
2. 平成26年第2回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。
3. 報告事項

1) 理事長報告（仁尾理事長）

仁尾理事長より以下の報告があり、了承された。

- (1) 日本家族計画協会からの通信文「代表理事退任と就任の挨拶状」を受領した。
- (2) 外科関連専門医制度委員会からの通信文「第 54 回総会議事録(案)」を受領した。
- (3) 東京医科歯科大学難治疾患研究所からの寄贈本「年報 2014 年」を受領した。
- (4) 日本がん治療認定医機構からのチラシ「教育セミナー開催案内」を受領した。
- (5) 日本製薬工業協会からの冊子「製薬協ニューズレターNo.162～163」を受領した。
- (6) 外科関連学会協議会からの通信文「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針 共同名義追加の報告」につき、仁尾理事長より報告があり、了承された。
- (7) 日本小児科医会からの通信文「新役員就任の挨拶」を受領した。
- (8) 厚生労働省医薬食品局からの通信文「医薬品・医療機器安全性情報No.314～315」を受領した。
- (9) 第 50 回日本周産期・新生児医学会からの通信文「学術集会記念式典開催の御礼」を受領した。
- (10) 厚生労働省雇用均等児童家庭局からの通信文「健やか親子 21 全国大会開催案内」を受領した。
- (11) 医療機器産業連合会からの寄贈本「医機連ニュース Vol.86」を受領した。
- (12) 日本医師会からの寄贈本「JMAJ Vol.57 No.1」を受領した。
- (13) 日本外科学会からの寄贈本「SURGERY TODAY Vol.44-No.8～No.9」を受領した。
- (14) 日本医科器械資料保存協会からの通信文「医科器械史研究賞受賞候補者の推薦依頼」を受領した。
- (15) 日本周産期・新生児医学会から通信文「新役員就任の挨拶」を受領した。
- (16) 小児医学研究振興財団から通信文「小児科分野に対する研究助成事業のお知らせ」を受領した。

- (17) 日本産科婦人科学会から通信文「事務局移転のお知らせ」を受領した。
- (18) 日本化学療法学会からの通信文「新役員就任の挨拶」を受領した。
- (19) 日本医学会からの寄贈本「日本医学会分科会一覧」を受領した。
- (20) 日本医療機能評価機構からの寄贈本「ニュース・レター9月号」を受領した。
- (21) 日本ペインクリニック学会からの通信文「代表理事退任と就任の挨拶状」
- (22) 日本産科婦人科学会からの寄贈本「震災対策・復興委員会〈災害対策マニュアル〉」を受領した。
- (23) 日本医師会からの冊子「平成 26 年度日本医師会医学賞・医学奨励賞受賞者決定の報告」につき、仁尾理事長より報告があり、了承された。
- (24) 日本医学会からの寄贈 DVD「第 17 回日本医学会公開フォーラム-肺がん-」を受領した。
- (25) 日本がん治療認定医機構からの通信文「2014 年度関連学会連絡委員会議事録」につき、出席した松藤理事より報告があり、了承された。
- (26) 難病のこども全国支援ネットワークの寄贈本「がんばれ！ vol.146」を受領した。
- (27) 医療法人社団スペクトラムからの通信文「名誉棄損による損害賠償請求事件について」を受領した。
- (28) 神奈川県医師会からの寄贈本「神奈川医師会雑誌 Vol.41 No.2」を受領した。

2) 総合調整委員会報告（黒田委員長）

黒田委員長より、資料に基づき、以下報告・提案があり承認された。

- ・ 日本小児外科学会年次報告集計のため、NCD 術式マスターと日本小児外科学会が従来使用してきた術式の紐付けは必須作業であり、NCD 術式マスターは毎年更新されるため、毎年 NCD 術式マスターと日本小児外科学会の術式の紐付けをメンテナンスすることが求められる。その紐付け実務作業を行うため、特別委員会を設置し、今後は当該委員会が作業にあたる提案が承認された。次回以降理事會にて当該特別委員会構成委員案を提示することとなった。なお、2014 年度症例の紐付け確認作業も早急に確認する必要があることが確認された。
- ・ 新専門医制度について、基幹施設は小児病院を含む現行の小児外科認定施設全てが基幹病院に含まれていくように働きかける方針で継続審議とし、外科の基本領域については、基幹施設・連携施設のどちらかに小児外科専門医が常在することを条件とすることを主張していくこととなった。また、指導医・専門医の研修終了実績としてセミナー（医療安全・倫理・ICT）の受講が求められており、学会の立場でセミナーの開催に積極的に取り組んで行く必要があり、学会としての具体的な方法については継続審議となった。
- ・ 学術集会の在り方については、学会主導でプログラム委員会を編成し（理事会メンバー+α）継続性のあるテーマを会長に提案する形を取ること、国際セッションを継続的に実施することで概ね合意が得られた。なお、PCO の決定および資金集めの方法や国際セッションの充実については、継続審議となった。
- ・ 女性会員の役員登用について、女性会員の中にも様々な考え方があり、一概に女性に限定した役員枠を設置することの是非を述べることは難しいとの意見も散見され、継続審議となった。

3) 日本小児期外科系関連学会協議会報告（田口副会長）

田口副会長より、資料に基づき、日本小児期外科系関連学会協議会における作業進捗状況が報告され、了承された。なお、協議会の活動促進のため、これまで年1回開催であった協議会を本年度より年2回の開催とすることとなった。

4) 日本小児連絡協議会（四者協）報告（田口副会長）

田口副会長より、資料に基づき、日本小児連絡協議会（四者協）における作業進捗状況が報告され、了承された。なお、地域総合小児医療認定制度が日本小児科医会にて運用開始となり、要件として小児科専門医であること求められていることが報告された。また、日本小児科医会より小児外科領域が高額医療であるケースが多いという内容が新聞に掲載されていたとの指摘があり、本件については保険診療委員会にて確認することとなった。

5) 健やか親子21報告（北川理事）

北川理事より、資料に基づき、活動実績調査の回答案が報告され、了承された。

4. 審議事項

1) 第52回学術集会について（前田副会長）

前田副会長より資料に基づき、プログラム案が提案され、承認された。

日時：平成27年5月28日（木）、29日（金）、30日（土）

会場：神戸国際会議場

テーマ：全てはこども達の笑顔のために：Challenge and Care

理事会、評議員会：平成27年5月27日（水）

評議員懇親会：5月27日 会員懇親会：5月29日

2) 第53回学術集会について（田口副会長）

田口副会長より資料に基づき、以下スケジュール案の報告があり、引き続き検討することとなった。

日程：平成28年5月24日～26日頃

会場：ヒルトン福岡シーホーク

※AAPSと同時並行開催とし、またIPEGとの同時期開催とすることが決定した。

3) 第30回秋季シンポジウムについて（前田理事）

前田理事より、資料を基に、準備状況の説明があり、承認された。

なお、テーマが「小児外科と倫理」であるため、第30回秋季シンポジウム参加者には医療安全・倫理に関する研修セミナーとして履修したことを証明・発行することが提案され、承認された。第30回秋季シンポジウムの参加証に、理事長名で倫理に関する

研修セミナーを履修したことを明記・発行することとなった。

日時：平成 26 年 11 月 1 日（土）

会場：兵庫県立淡路夢舞台国際会議場

PSJM2014（平成26年10月30日（木）・31日（金））との合同開催

4) 庶務委員会（菱木庶務委員長）

菱木庶務委員長より、資料に基づき報告がなされ、承認された。

- ・ 2014 年 8 月末現在の会員数は、評議員を除く正会員 1,875 名（うち海外 2 名）、評議員 317 名、名誉会員 53 名（うち海外 8 名）、特別会員 67 名（うち海外 1 名）の合計 2,312 名である。

5) 財務会計委員会（渡井財務会計委員長）

渡井財務会計委員長より、秋季シンポジウム中の事務局デスク（新入会および年会費受付）について、昨年度までデスク設置していたが受付に来る数は殆どいない一方で、事務局員の人件費および旅費が高むため、2014 年度より事務局デスクを設置しないことが提案され、承認された。また、今後は秋季シンポジウム会期中、新入会者および住所変更のオンライン手続方法を会場に掲示することとなった。

6) 各種委員会報告

(1) 国際・広報委員会報告（仁尾理事長）

仁尾担当理事より、「子どもとICT、子どもたちの健やかな成長を願って」委員会（4者協委員会）にて検討された子どもとICTの問題についての提言案が資料に基づいて、報告され、承認された。なお、4者協にて提言最終案が承認された場合には、各学会ホームページへ掲載、またマスコミを通じて周知していく予定である。

(2) 機関誌委員会（北川担当理事）

北川担当理事より資料に基づき以下報告・提案があり承認された。

- ・ 物故会員への追悼文執筆依頼につき、特別会員生駒文彦先生の追悼文は、島田憲次先生へ執筆依頼することとなった。
- ・ 学術集会抄録号については、今後紙媒体をやめ、電子媒体での提供を主軸とする案も検討課題とする。
- ・ 2014年度のPSI（JSPS ISSUE）の投稿案内文章について最終案が報告され、承認された。
- ・ PSIの購読料について、Springer社よりオンライン購読の提案があり、その場合は全会員を対象（一人50€の購読料として）とすることが条件となるとの説明があり、審議の結果、過去の購読料に関する折衝内容を確認の上、現状の購入部数（220部）より多く（例：300部や400部）紙媒体を購入した場合に現在の購読料から安くなるかどうかを含め、交渉対応していくこととなった。

(3) 保険診療委員会（窪田担当理事）

窪田担当理事より資料に基づき以下報告があり承認された。

平成28年度診療報酬改定に技術新設要望事項の候補として以下項目を選定した。

①先天性食道閉鎖症根治手術（胸腔鏡下）：再要望

②総胆管拡張症手術（腹腔鏡下）

③腸重積症整復術（腹腔鏡下）

④胆道閉鎖症手術（腹腔鏡下）

：上記①～④は認定施設および教育関連施設を対象に行うアンケート調査の結果によって再検討、内視鏡手術としての一括要望も検討する。

⑤短期滞在手術基本料（日帰りの場合、小児全身麻酔の場合）」：再要望

⑥慢性便秘指導管理料（慢性便秘のガイドラインを参考にして検討）

⑦血中セレン濃度測定（日本先天代謝異常学会との共同申請を検討）

⑧包茎の軟膏療法（保留：指導料として要望するか検討）

⑨処置による小児加算：高位浣腸・高圧浣腸・洗腸、留置カテーテル設置、導尿（保留：項目に余裕があれば要望）

- ・ 日本医学会から日本外科学会を通じて、ICD10の一部改正に関する意見の募集があった。貧血及び胃腸出血、異所性の新生物（腫瘍）、新生児の出血後・脳室内出血後水頭症、詳細不明の腹膜炎を伴う急性虫垂炎など、小児外科に関連したID・タイトルの新設について賛成の回答を行った。
- ・ 日本泌尿器科学会および日本小児泌尿器科学会より平成28年度診療報酬改定へ向けて、幼小児在宅排尿指導管理料の新設要望に関する要望へ連盟のお願いがあり、審議の結果、連盟で要望することが承認された。ただし、要望点数等については慎重に検討すべきことが確認された。

(4) 教育委員会（松藤担当理事）

松藤担当理事より、卒前教育アンケートについては、集計結果の別刷をアンケート回答対象とした医育機関に送付を行った報告があり、承認された。また、集計結果を有効に活用するため、行政に働きかけを行っていくことが確認された。

(5) 悪性腫瘍委員会（米倉担当理事）

米倉担当理事より、日本小児血液・がん学会の認定施設において2016年度の認定更新時には、全国にある施設のうち複数施設で更新要件である小児がん認定外科医がいない現状があり、そのうち5施設は小児がん拠点病院であることが報告された。

(6) 学術・先進医療検討委員会（八木担当理事）

八木担当理事より資料に基づき以下報告があり承認された。

- ・ 新生児外科全国アンケート調査については、学会報告までに集計が間に合わなかった施設およびデータが解析できなかった（CDが開かないなど）施設に再度依頼して、現在再集計中で10月初旬に整理が終了し、PSI投稿の準備を開始する予

定。

- ・ 日本小児外科学会保険診療委員会より「保険収載されていたに内視鏡手術に関するアンケート調査」について審議依頼があり、審議の結果9月6日承認した。
- ・ 他の学会、研究班からの診断基準、重症度判定、ガイドラインなどの評価および承認依頼

- ① 平成平成26年6月12日に日本小児科学会小児慢性特定疾患委員会（小児外科担当九州大学大学院医学研究院小児外科学分野 教授 田口 智章先生、東北大学大学院医学系研究科小児外科学分野 教授 仁尾 正記先生）より小児慢性特定疾患治療研究事業対象疾患の「診断の手引き」「先天性胆道拡張症」について再度の評価依頼があり当委員会および理事会の審議を経て6月30日承認された。
- ② 平成26年7月8日に日本小児科学会小児慢性特定疾患委員会（小児外科担当九州大学大学院医学研究院小児外科学分野 教授 田口 智章先生）より小児慢性特定疾患対象疾患見直しのための「診断の手引き」の「気道狭窄」「短腸症」および「短腸症の概念」について当委員会および理事会の審議を経て7月22日承認された。
- ③ 平成26年7月9日に小児慢性特定疾患対象患児見直しのための「診断の手引きの疾患概念」について審議依頼があり、当委員会および理事会の審議を経て下記の「疾患概念」について8月4日承認された。
「ヒルシュスプルング病」「先天性腸管神経節細胞僅少症」
「巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全」「慢性特発性偽性腸閉塞症」
「クローン病」「潰瘍性大腸炎」「乳幼児難治性肝血管腫」「仙尾部奇形腫」
「リンパ管腫・リンパ管腫症」「胆道閉鎖症」「先天性胆道拡張症」
「先天性横隔膜ヘルニア」「総排泄腔遺残症」「総排泄腔外反症」
- ④ 平成26年9月17日に和田 基委員を通じて日本小児感染症学会（理事長 堤 裕幸先生）から小児臓器移植及び免疫不全状態における予防接種ガイドライン作成とのことで、同作成委員会委員長 岡田賢司先生により「小児固形臓器移植患者への予防接種」というガイドラインにつき本学会からの authorize 依頼があった。委員会内審議では承認となった。理事会でも本ガイドラインを承認することとし、承認書に押印の上、回答することとなった。

(7) 倫理・安全管理委員会（漆原理事）

漆原担当理事より、倫理安全便りを定期的に発行している旨、報告があり了承された。

(8) データベース委員会（米倉担当理事）

米倉担当理事より以下報告があり承認された。

- ・ NCD-Pediatricについて、10月より委員会内でテスト入力を開始予定であり、2015年1月より運用開始予定である。
- ・ NCDへの症例登録に関し、毎年度の登録期限を過ぎてから追加登録をすることは

例外なく対応できない旨、NCDより通知があり、改めて確認された。

(9) 小児救急検討委員会（松藤担当理事）

松藤担当理事・黒田理事より、資料に基づき、以下報告・提案があり承認された。

- ・ 第5回小児救急セミナーについては、第52回学術集會会期中に開催予定である。
- ・ PALS講習会の今後開催について、学術集會での併催では、PALS受講に2日間が必要でPALSを受講するメリットが不明な現状では、教育セミナーや内視鏡セミナー受講に参加者が流れることも予想されることより、学術集會からずらした時期に開催する以下の案が提案され、審議の結果、承認された。

案1:2015年7月18日(土)～20日(月) 月曜日は海の日で3連休。

案2:2015年9月19日(土)～23日(水) 21日月曜日は敬老の日、23日は秋分の日、22日は休日に挟まれた休日で5連休。

※いずれも初日にBLSを行い、それに続いてPALSを行います。BLS受講済者は2日目からの参加となる。

(10) 利益相反委員会（漆原担当理事）

漆原担当理事より、資料に基づき「臨床研究の利益相反に関する指針」、「臨床研究のCOI（利益相反）に関する指針運用規則」の修正案が報告され、改めて理事会確認の上、2015年度の評議員会・総会へ上申することとなった。

(11) ワークライフバランス検討委員会（窪田担当理事）

窪田担当理事より、資料に基づき、以下報告があり承認された。

- ・ 第51回日本小児外科学会学術集會のパネルディスカッション「専門医制度における課題」として妊娠・出産・育児・介護期間中の専門医資格継続（更新猶予規定）などに関する調査結果を含め、現状と今後導入される「認定登録医」制度について委員会として演題発表を行い、日本小児外科学会雑誌へ投稿中である。
- ・ ホームページでの広報として以下掲載を予定している。

a. 委員会における広報

- ・ 村木厚子氏講演会の内容・写真・アンケート結果は、HPに掲載済
- ・ 第50回総会で集計報告した「アンケート結果」の記事を準備中
- ・ 「認定登録医」の英語表記を確認、委員会名の英語表記について検討

b. ロールモデル紹介：

- ・ 第1回インタビュー（窪田先生、小林先生）はHPに掲載済。
- ・ 第2回インタビュー（世川先生）は実施済み。記事を準備中。
- ・ 第3回インタビュー（中野美和子先生）介護について実施済み。記事を準備中。

c. キャリア支援策の紹介

東京女子医大男女共同参画局のHPへのリンク許可願いを委員長名で申請済。

→承認後にバナーのリンクをHPへ貼る依頼をする。（平井担当）

秋田大学の先進的な取り組み（学生への授業枠もある）について確認進める。

- ・ ワークライフバランスについての啓蒙活動、懇親活動
 - a. 第2回講演会準備
 - ・ 秋季シンポジウム・PSJM2014 会期中開催 10月31日(金) 18時～19時
講師 桃井眞里子先生
 - b. 第3回講演会準備
 - ・ 秋季シンポジウム・PSJM2015(熊本) 会期中10/29(木) 夜に開催予定。
講師の選定中
 - c. 親睦会準備(杉山)
 - ・ 秋季シンポジウム・PSJM2014 全体懇親会の後に、会場に隣接するホテル(ウェスティン)のバーでの開催。
- ・ 他学会との交流、ネットワークづくりとして日本臨床外科学会(福島県郡山)でのJAWS朝食会へ出席した。
- ・ クオータ制については、この論点について性別を問わず意見を集められる仕組みを含め、継続審議事項としている。
- ・ 学術集会時の託児所について、過去5年間の利用実績を調査した結果、料金設定の妥当性については、利用者、利用者以外の会員の意見を含め、今後検討していくこととなった。
- ・ 日本小児外科学会におけるクオータ制導入・ポジティブアクションについては、意思決定機関への女性の参画というコンセプトで考えると、単に女性評議員数を増やすよりも委員への登用の方が实际的であり、また、女性兼任委員の過重負荷軽減、若手の人材育成のためにも好影響であるという方向性で委員会では検討を進めており、継続審議を深め、最終提言案を作成予定である。
- ・ 2015年度に予定されている委員改選の際に、現在の委員会活動の流れを維持させるために、2014年度をもって任期を2期お勤めいただいている委員について、例外的に留任をお願いしたい旨、提案された。2013年度より設置された特別委員会としてワークライフバランス検討委員会であることもあり、留意をお願いしたい委員を顧問とする方法など、再度委員会内で検討することとなった。
- ・ 女性医師支援事業連絡協議会という会議があり、これに日本小児外科学会が加入していくべきか情報を収集・確認することとなった。

(12) トランジション検討委員会(八木担当理事)

八木担当理事より資料に基づき、以下報告・提案があり、承認された。

- ・ 日本小児科学会の「小児慢性疾患患者の移行支援検討WG」より、疾患(病態)別の移行支援ガイドブックの試案(医師向け)に対するアンケートにつき、回答案の報告・提案があり、承認された。
- ・ 小児外科の代表的な慢性疾患における移行の問題については、①直腸肛門奇形(男児、女児、総排泄腔、総排泄腔外反症)②直腸膀胱障害(二分脊椎症)③胆道閉鎖症(非移植例)④腸管不全(H病類縁疾患、短腸症候群)に関するガイドブック案が作成し、2015年度学術集会で提示できることを目標とする。

7) 選挙管理委員会（菱木選挙管理委員長）

菱木選挙管理委員長より、資料に基づき、第22回評議員選挙有権者名簿の確認と立候補のお知らせ案が提案され、承認された。なお、周知方法としては第22回評議員選挙より郵送ではなく、メールおよびホームページでの周知していくことが確認された。

8) その他

(1) 新専門医制度について（仁尾理事長）

仁尾理事長より、資料に基づき、日本専門医機構における基幹施設の数は日本外科学会の認定施設よりもある程度少なくする予定であること、及び外科専門医更新については現状の要件をほぼ踏襲する形で移行を予定していることが報告された。なお、新専門医制度整備基準にある講習実績については、5年間で40単位の受講義務を予定されているが、日本外科学会では医療現場に負担を加えない程度に緩和する要望が検討されていることが申し添えられた。また、外科指導医の認定基準案についても、小児外科指導医の認定基準と齟齬しないように注意しながら、日本小児外科学会においても小児外科専門医研修プログラム整備基準を整える準備を進めることが確認された。

(2) JCCGについて（仁尾理事長）

仁尾理事長より、資料に基づき、2014年12月1日より特定非営利活動法人日本小児がん研究グループ（JCCG）として設立登記をするため、定款案および定款施行細則案の報告があり、了承された。

(3) がんの子どもを守る会からのシンポジウム後援名義使用許諾について（仁尾理事長）

仁尾理事長より、資料に基づき、がんの子どもを守る会からのシンポジウム後援名義使用許諾があったことが報告され、承認された。

(4) 厚生労働科研補助金（成育疾患克服次世代育成基盤研究事業）慢性疾患に罹患している児の社会生活ならびに療養生活支援に関する実態調査およびそれらの施策の充実に関する研究（研究代表：水口 雅）分担研究：患者・家族に対する支援体制の構築に関する研究（研究代表：及川 郁子）に関する意見要望について（仁尾理事長）

仁尾理事長より、資料に基づき、本研究における療養支援モデルについて、本学会宛に意見を求める依頼があったことが報告され、学術先進医療検討委員会にて検討することとなった。

9) 次回定例理事会の日程の確認について

次回理事会は平成26年10月29日（水）10：00～14：30兵庫県立淡路夢舞台国際会議場4階会議室405にて開催することが確認された。

理事長

理事

理事
